

1 集合

A 集合と要素

数学では、「1から10までの自然数の集まり」のように、範囲がはっきりしたものの集まりを

といい、集合を構成している1つ1つのものを、その集合の という。

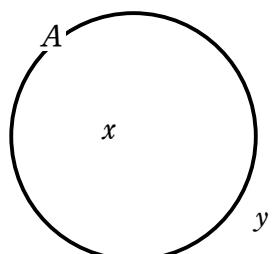
たとえば、「1から10までの自然数の集まり」を A とすると、 A は
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10

を要素とする集合である。

x が集合 A の要素であるとき、 x は集合 A に という。

また、集合とその要素について、

x が集合 A の要素であることを $x \boxed{}$ A ,



y が集合 A の要素でないことを $y \boxed{}$ A

と表す。

例 1 1桁の素数全体の集合を A とすると、 A は

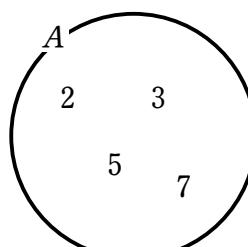
2, 3, 5, 7

を要素とする集合である。

このとき、集合 A について、たとえば

2 A , 1 A

である。



終

練習 1 有理数全体の集合を Q とする。次の に適する記号 \in または \notin を入れよ。

(1) $4 \boxed{} Q$

(2) $-\frac{2}{3} \boxed{} Q$

(3) $\sqrt{2} \boxed{} Q$

B 集合の表し方

集合の表し方には、{ }の中に要素を書き並べて表す方法がある。

例 2 要素を書き並べて表す方法

(1) 18の正の約数全体の集合 A は $A = \boxed{}$

(2) 20以下の正の偶数全体の集合 B は $B = \boxed{}$

(3) 自然数全体の集合 N は $N = \boxed{}$

終

要素の満たす条件を書いて、集合を表す方法もある。例 2 の集合 A , B は、たとえば、それぞれ次のようにも表される。

例 3 要素の満たす条件を書いて表す方法

(1) $A = \left\{ x \mid x \text{ は } \boxed{} \right\}$

(2) $B = \left\{ 2n \mid n \text{ は } \boxed{} \right\}$

← A の要素を x で代表させ、縦線の右に x の満たす条件を書いている。

練習 2 次の集合を、要素を書き並べて表せ。

(1) 20の正の約数全体の集合 A

(2) $B = \{x \mid x \text{ は } 10 \text{ 以下の正の奇数}\}$

(3) $C = \{3n + 1 \mid n = 0, 1, 2, 3, \dots\}$

深める 集合 $C = \{1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15\}$ を例 3 のような要素の満たす条件を書いて表す方法で表してみよう。

C 部分集合

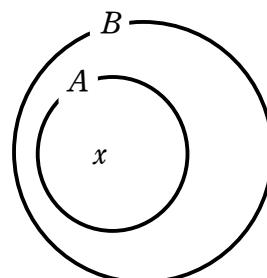
2つの集合 A, B について、

A のすべての要素が B の要素でもあるとき、

すなわち

$x \in A$ ならば $x \in B$

が成り立つとき、 A を B の という。



このとき、 A は B に 、または B は A を といい、 A B 、

または B A で表す。

集合 A 自身も A の部分集合である。すなわち、 $A \subset A$ である。

また、 A と B の要素がすべて一致しているとき、 A と B は といい、

A B で表す。

<注意> $A = B$ であることは、「 $A \subset B$ かつ $A \supset B$ 」であることと同じである。

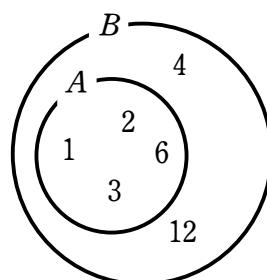
例 4 $A = \{1, 2, 3, 6\}$ と $B = \{1, 2, 3, 4, 6, 12\}$ については、

A B である。

また、6の正の約数全体の集合を C とすると、

A C である。

総



練習 3 次の2つの集合の関係を、 \subset , $=$ を使って表せ。

(1) $A = \{1, 2, 4, 8\}$, $B = \{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8\}$

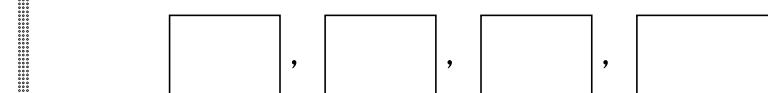
(2) $C = \{1, 2, 5, 10\}$, $D = \{x \mid x \text{は } 10 \text{ の正の約数}\}$

(3) $P = \{x \mid x \text{は } 12 \text{ 以下の自然数}\}$, $Q = \{x \mid x \text{は } 12 \text{ の正の約数}\}$

要素が1つもない集合も考える。これを といい、 で表す。

空集合 \emptyset は、どんな集合に対しても、その部分集合であると約束する。

例 5 集合 $\{a, b\}$ の部分集合は、次の4個である。



総

← 空集合 \emptyset および
 $\{a, b\}$ 自身も部
分集合である。

練習 4 次の集合の部分集合をすべてあげよ。

(1) $\{1, 2\}$

(2) $\{a, b, c\}$